

2016年リオデジャネイロ・オリンピック

男子グレコローマン66kg級／出場選手・展望

世界チャンピオンのフランク・スタイブラー(ドイツ)は、昨年11月のゴールデンGP決勝大会、今年6月のピトラシンスキ国際大会(ポーランド)は、ともに71kg級に出場して優勝。上の階級での修業が実るか。

2013年世界王者で昨年世界2位の柳漢壽(リュ・ハンス=韓国)も、ピトラシンスキ国際大会2位など実力を見せている。韓国は2008年北京大会で金メダルの伝統が途切れたが、前回のロンドン・オリンピックで復活。それを確固たるものとする事ができるか。

ロシアは世界選手権3位のアルテム・サーコフではなく、欧州選手権優勝でロシア選手権を制したイスラムベク・アルビエフが出てくる。60kg級で2008年北京オリンピックで優勝。今年はポッドブニー国際大会、欧州選手権、ロシア選手権で勝ち続けており、文句なしの“逆転代表決定”と言えよう。

2012年ロンドン・オリンピック60kg級優勝のオミド・ノルージ(イラン)、同66kg級2位のタマス・ロエリンツ(ハンガリー)、2014年世界選手権優勝のダボール・ステファネク(セルビア)らが優勝争いにかかわる可能性も十分にある。

アジア予選でオミド・ノルージに土をつけた井上だが、闘ったことのない強豪は多い。

【エントリー選手】

出場資格獲得大会	選手(生年月日・年齢)	国名	過去の主な成績
世界選手権優勝	 Staebler, Frank フランク・スタエブラー (1989-06-27=27歳)	ドイツ	2012年ロンドン・オリンピック5位 2015年欧州大会71kg級3位 2016年ピトラシンスキ国際大会優勝 【UWW8月ランキング:1位】2012年ロンドン・オリンピック5位のあと、2013年世界3位、2014年世界5位などコンスタントに上位へ。昨年、ドイツの男子としては1994年以来、21年ぶりの世界王者へ。
世界選手権2位	 Ryu, Han-Soo リュ・ハンス=柳漢壽 (1988-02-01=28歳)	韓国	2013年世界選手権優勝 2014年アジア大会優勝 2015年アジア選手権優勝 【UWW8月ランキング:3位】2006・08年にアジア・ジュニア選手権で優勝し、2013年に世界選手権初出場初優勝。2014年アジア大会でも勝った。6月のピトラシンスキ国際大会は2位。
世界選手権3位 (別の選手が獲得)	 Albiev, Islambek イスラムベク・アルビエフ (1988-12-28=27歳)	ロシア	2008年北京オリンピック60kg級優勝 2013年世界選手権2位 2016年欧州選手権3位 【UWW8月ランキング:4位】2008年北京オリンピック60kg級王者。66kg級でのロンドン大会の出場ならず。昨年の世界選手権は外れたが、今年はポッドブニー国際大会、欧州選手権、ロシア選手権で勝ち続けた。
世界選手権3位	 Stefanek, Davor ダボール・ステファネク (1985-09-12=31歳)	セルビア	2014年ゴールデンGP決勝大会3位 2014年世界選手権優勝 2016年欧州選手権2位 【UWW8月ランキング:6位】2005年に世界ジュニア選手権で優勝し、2008年北京オリンピックに出場。2012年ロンドン大会は逃したが、2014年に世界選手権で初優勝。今年の欧州選手権は2位と力をキープ。
世界選手権5位	 Benaissa, Tarek Aziz タレク・アジズ・ベナイッサ (1991-04-07=25歳)	アルジェリア	2012年ロンドン・オリンピック60kg級15位 2015年アフリカ大会優勝 2016年アフリカ選手権2位 【UWW8月ランキング:11位】2008年北京オリンピックはアフリカ&オセアニア予選を通過して出場。2014年アフリカ選手権優勝などを経て、今回は世界選手権で出場枠を獲得。

世界選手権5位		Arutunyan, Migran ミグラン・アルツニヤン (1989-03-25=27歳)	アルメニア (元ロシア)	2014年世界選手権9位 2015年欧州大会2位 2016年ミロン・トロフィー国際大会71kg級優勝
【UWW8月ランキング:8位】2012年まではロシア国籍。ワールドカップの代表に2度なっている。アルメニアへ変えてから2015年欧州大会2位などの成績を残している。				
欧州予選優勝		Loerincz, Tamas タマス・ロエリンツ (1986-12-20=29歳)	ハンガリー	2012年ロンドン・オリンピック66kg級2位 2015年世界選手権15位 2016年スペインGP71kg級優勝
【UWW8月ランキング:2位】2008年北京オリンピック8位。その後の世界選手権でも上位入賞を続け、2012年ロンドン大会は2位。今年は欧州予選を含めて国際大会を4大会連続で制している。				
《日本代表選手との対戦成績》【2016年ハンガリーGP】井上●[0-4]○Tamás Lorincz(ハンガリー)				
欧州予選2位		Bolkvadze, Shmagi シュマギ・ボルクバーゼ (1994-07-26=22歳)	ジョージア	2014年世界ジュニア選手権優勝 2015年世界選手権7位 2016年欧州選手権3位
【UWW8月ランキング:10位】2013年世界ジュニア選手権2位。2015年世界選手権は7位。今年の欧州選手権3位を経て、欧州予選でオリンピック出場枠を獲得。				
パンアメリカン予選優勝		Rivas Espinoza, Wuileixis ウイレシス・リバス・エスピノザ (1990-08-27=25歳)	ベネズエラ	2012年ロンドン・オリンピック12位 2014年パンアメリカン選手権71kg級優勝 2015年パンアメリカン大会3位
【UWW8月ランキング:13位】2012年ロンドン・オリンピック出場を経て、パンアメリカンを代表する選手へ。				
パンアメリカン予選2位		Martinez Palacios, Miguel ミゲル・マルティネス・パラシオス (1991-03-23=25歳)	キューバ	2015年世界選手権30位 2016年パンアメリカン選手権優勝 2016年スペインGP優勝
【UWW8月ランキング:9位】2014~16年にパンアメリカン選手権優勝。この間の2015年パンアメリカン大会は3位だった。7月のスペインGPで優勝し、勢いつけた。				
アジア予選優勝		井上 智裕 (1987-07-17=29歳)	日本	
【UWW8月ランキング:外】				
アジア予選2位		Omid Noroozi オミド・ノルージ (1986-02-18=30歳)	イラン	2011年世界選手権60kg級優勝 2012年ロンドン・オリンピック60kg級優勝 2014年世界選手権2位
【UWW8月ランキング:18位】60kg級で2010年アジア大会優勝、2011年世界選手権優勝と続け、2012年ロンドン・オリンピックで優勝。66kg級となってからも2014年世界選手権で2位となった。				
《日本代表選手との対戦成績》【2016年アジア予選】井上○[3-3]●Omid Noroozi				
アフリカ・オセアニア予選優勝		Kahk, Adham Ahmed Saleh アドハム・カーク ()	エジプト	2016年ニコラ・ペトロフ国際大会71kg級4位 2016年スペインGP71kg級3位
【UWW8月ランキング:外】世界の主要大会での実績はないが、今年に入り、2月のニコラ・ペトロフ国際大会(ブルガリア)71kg級で4位、7月のスペインGP71kg級で3位に入った。				
アフリカ・オセアニア予選2位		Miller, Craig クレイグ・ミラー ()	ニュージーランド	2016年オセアニア選手権3位
【UWW8月ランキング:外】オーストラリア選手のドーピング違反発覚により、繰り上げで出場。				

世界予選第1戦 優勝		Panait, Ionut イオナト・パナイト (1981-05-05=35歳)	ルーマニア	2008年北京オリンピック13位 2011年世界選手権21位
【UWW8月ランキング:14位】2008年北京オリンピックに出場。その後、2010年欧州選手権2位など健闘したが、2012年ロンドン大会が出場できず。しばらくマットを離れたあと、今年復帰して出場枠を獲得。				
世界予選第1戦 2位		Vaelimaeki, Tero テロ・パエリマエキ (1982-01-01=34歳)	フィンランド	2014年世界選手権31位 2015年世界選手権23位 2016年ドイツGP71kg級5位
【UWW8月ランキング:外】オリンピックには2004年アテネ大会から挑んだが、3大会とも出場できず。その後も世界選手権での上位入賞はなかったが、世界予選で出場枠獲得。				
世界予選第1戦 3位		Venckaitis, Edgaras エドガラス・ベンカイトイス (1985-12-12=30歳)	リトアニア	2012年ロンドン・オリンピック7位 2014年世界選手権3位 2015年世界選手権33位
【UWW8月ランキング:16位】2005年頃からシニアの国際舞台へ。2008年北京大会は逃し、2012年ロンドン大会に出場して7位。2014年世界選手権は3位に入ったが、特筆すべき成績は少ない。				
世界予選最終戦 優勝		Chunayev, Rasul ラスール・チュナエフ (1991-01-07=25歳)	アゼルバイジャン	2014年世界選手権71kg級3位 2015年欧州大会71kg級優勝 2015年世界選手権71kg級優勝
【UWW8月ランキング:71kg級1位】シニアでは2013年頃から頭角を現す。2014年世界選手権71kg級3位を経て、2015年に欧州大会と世界選手権の同級で優勝。66kg級へ落として世界予選最終戦を勝ち抜いた。				
世界予選最終戦 2位		Tsarev, Ruslan ルスラン・ツアレフ (1995-07-16=21歳)	キルギス	2014年アジア選手権優勝 2015年世界選手権29位 2016年アジア選手権75kg級3位
【UWW8月ランキング:71kg級10位】2014年アジア選手権優勝で頭角を現し、翌年は71kg級でアジア選手権2位。2016年アジア選手権は75kg級で3位となったが、66kg級でアジア予選に挑んで結実した。				
《日本代表選手との対戦成績》【2013年ハンガリーGP】井上●[1-2(2-0,0-3,0-2)]○Ruslan Tsarev 【2013年アジア選手権】井上○[2-1(1-0,1-4,3-0)]●Ruslan Tsarev				